

緑を知ればもっと好きになる。緑を愛すればもっと楽しくなる。

樹 愛 楽 春

2015
春
第17号



日本人に愛される桜。待ちに待った、一年振りの再会も、時間は、あっという間に過ぎてしまいます。今年も、淡い桃色の美しい姿を一瞬だけみせて、儚く散っていくでしょう。そんな桜ですが、最近、早咲きの河津桜を始め、ソメイヨシノ以外の名称を良く聞くようになりました。ここ浜松でも、舘山寺桜、雛桜、三ヶ日桜など地域オリジナルの桜があります。今回は、そんな桜にスポットを当ててみました。



雛桜 雛祭り頃に咲く
(別名 古里桜)
(はままつフラワーパークオリジナルの品種)

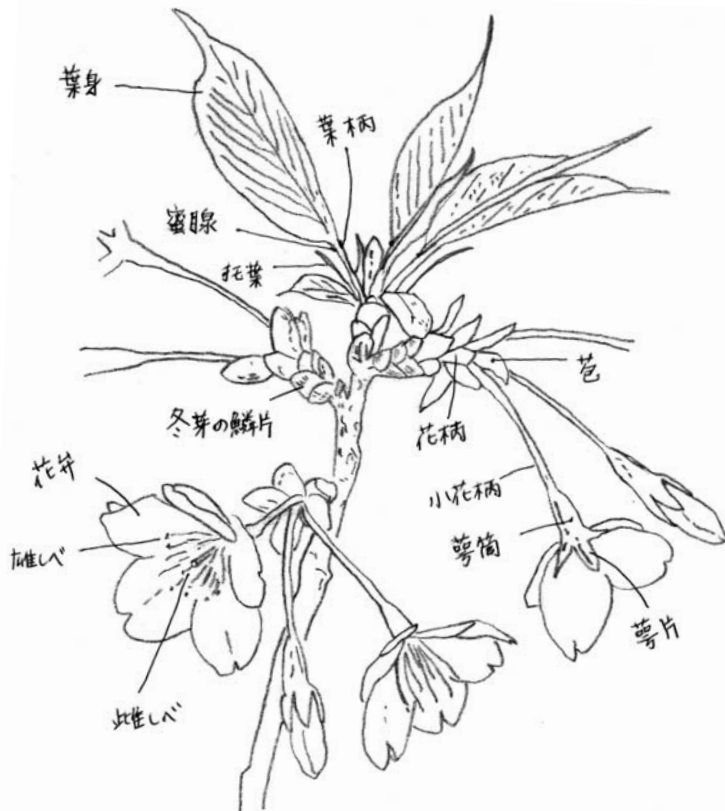


花は白く
葉も同時に開く
オオシマザクラ
自生種

桜・サクラ・さくら!



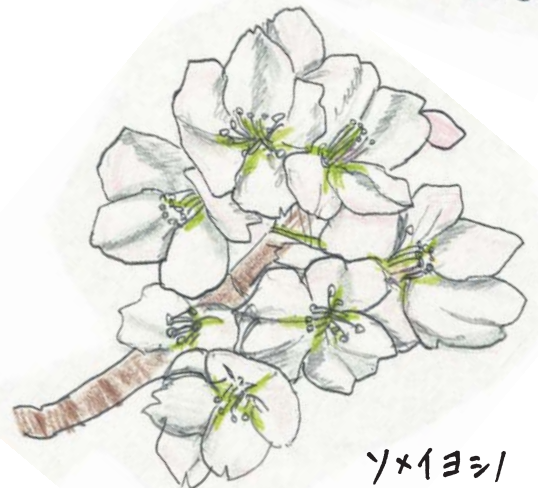
サクラの花と葉の名称



サクラの花と葉の名称

舘山寺桜

(はままつフラワーパーク
オリジナルの品種)
早咲き



ソメイヨシノ

エドセガンとオオシマザクラの雑種
歴史は浅く、江戸末期から吉野桜として広まった。
ソメイヨシノの名は、明治33年に名付けられた。





ピックアップ公園情報！

〈はままつフラワーパーク〉



はままつフラワーパークは、浜名湖畔の自然の地形を活かして作られた植物園です。世界一美しい『桜とチューリップの庭園』をはじめ、フジ、バラ、ハナショウブ、アジサイ、ウメ、花壇を彩る草花など、約3,000種の花と緑が四季折々に咲き乱れ、憩いの空間を演出します。

明るく透明感に溢れる大温室「クリスタルパレス」は、訪れる度に新鮮な感動を味わっていただけるよう、季節ごとに趣向を凝らしたテーマ展示を行っています。音楽に合わせて水が踊る「大噴水ショー」や、園内を走る観覧乗物「フラワートレイン」も人気。各種イベントのほか、桜や初夏のホテル、クリスマスシーズンには夜間開園を開催します。レストランやショップもご利用いただけます。



- 所在地/ 浜松市西区舘山寺町195
- 電話/ 053-487-0511
- 入園料/ 3月～6月 大人600円～1,000円、小・中学生300円～500円
7月～9月 無料
10月～2月 大人500円（お買物券500円付）、中学生以下無料
- 駐車場/ 537台（1回200円）
- 定休日/ なし ※12月29日～31日は休園
- ホームページ/ <http://e-flowerpark.com>



浜松市“緑”と“花”の仕事紹介！

〈樹木医からみたサクラの保護管理〉

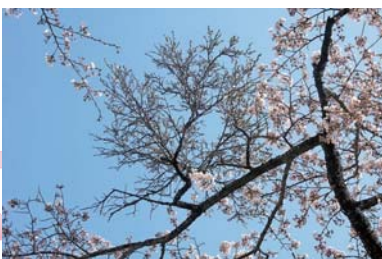
天竜区春野町にある通称「静修のヤマザクラ」の診断と治療を行ないました。樹齢は約120年と古木であり、山からの地下水の供給の変化や枯れ枝の発生などで衰弱していましたが、各種の治療回復措置などによって現在の樹勢は回復傾向にあります。

サクラの管理で最も気を付けたいことは「サクラてんぐ巣病」です。発生はソメイヨシノに多く、放置すると花が咲かなくなって枝枯れを起こし、いずれサクラは枯死してしまいます。早期に発見して早期に除去することが必要です。サクラは木材腐朽菌に弱い樹種ですので、枝を切除した際には必ず殺菌剤入りの塗布剤で切り口を保護する処置が欠かせません。

さらに、通常管理で枝を切除する際には残枝を残さず、幹の付け根から最小断面で切除することが必要です。この場合、枝の付け根のふくらみ（ブランチカラー）と枝と幹の境目にできる盛り上がったシワ（バークリッジ）を傷つけてはいけません。

残枝を残すと萌芽枝が多く発生しすぎて逆に樹勢を弱め、いずれ枝枯れを引き起こす要因となります。枝枯れを放置するとその場所は腐って穴が開き、雨水が樹幹内に入るため木材腐朽菌による樹体腐れを起こしますので注意が必要です。

（樹木医：藤下章男）



サクラてんぐ巣病罹病枝



サクラ樹幹開口部の閉鎖作業



春野町「静修のヤマザクラ」





緑の仲間たちの紹介

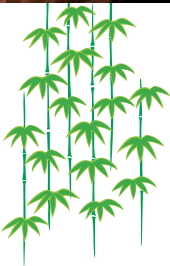
竹林ボランティア<タケのネ>



龍山町で活動する竹林ボランティア「タケのネ」は、2014年7月に開始し、会員数は15名、約5名が中心になって活動しています。

龍山町の放置竹林を整備し、伐採した竹を使って竹灯籠を作っています。イベントなどで、竹灯籠の展示・販売等を行ったり、竹灯籠作りワークショップを開催し、龍山町をPRしています。また、竹の食器を作り「竹カフェin龍山」を開催し、龍山の食材と共に竹の実用性を伝えています。

活動には、龍山町民、浜松市だけでなく、市外県外からも参加者が気軽に参加をいただいています。竹林整備から竹の加工までを、経験豊富なスタッフと共に行うことで、竹について包括的な知識を得ることができます。とくに竹灯籠は、誰でも作ることができ、夜には美しい竹灯籠を楽しむことができるのでおすすめです。



「タケのネ」は美しい森を守るため竹林整備を行います。放置されて不要になってしまった竹を、「竹灯籠」として生まれ変わらせ、龍山の町をもっと明るく灯したい。そんな想いで「タケのネ」は活動をしています。

龍山に来たことない方、参加大歓迎！竹林整備初心者も大歓迎！みんなで楽しく汗を流しながら活動していきましょー♪



知ってましたか？ 公園散策のための豆知識

<桜に関すること>

◆ 桜餅

「桜餅」と聞いて、どんな形を思い浮かべますか？代表的なものは、塩漬けのサクラの葉で包まれた餅菓子ですが、ここ浜松では、つぶつぶした桜色のお餅であんこをくるんだものを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか？でも、もしかしたら、クレープのような焼き皮製の生地にあんこをくるんだものを思い浮かべた方もいらっしゃるかもしれません。これ、日本の西と東で違うようです。

つぶつぶもちもちの生地であんこをくるんだ桜餅は、関西系で「道明寺」桜餅です。関東では、ずばり「道明寺」というお菓子として桜餅とは別に売られています。焼いた生地を使うのは関東系の桜餅で、「長命寺」桜餅。日本で初めてつくられた桜餅は「長命寺の桜もち」と言われています。



チロルチョコにも桜餅。。



長命寺桜餅と道明寺桜餅の境目は浜松～名古屋あたりだそう。



オオシマザクラの花は白く、葉も同時に開きます。



◆ 桜の葉

「桜餅」に欠かせないのが、桜葉。この桜葉は、伊豆半島、松崎町の名産品で、全国の約7割を生産しているそうです。

桜葉の栽培に使われているのは“大島桜”。理由は、葉がやわらかく毛が無いから。

桜葉栽培用の大島桜の葉を一枚一枚手作業で摘み、収穫された葉は、大きな樽に敷き詰められ、塩漬けにします。



みどり関係イベント情報

イベント名	開催日時	開催場所	問合せ（市外局番 053）
家康楽市IN浜松出世城	4月25日(土)、26日(日)	浜松城公園	家康楽市in浜松出世城実行委員会
春のはままつ庭めぐり	5月8日(金)～10日(日)	浜松市内	浜松公園緑地協会 ☎411-6687
緑のカーテンをはじめよう	5月9日(土)	みどり～な	みどり～な ☎426-2300
椿の挿し木と植え替え	6月7日(日)	万葉の森公園	万葉の森公園 ☎586-8700
浜名湖花フェスタ	3月21日(土)～6月15日(月)	はままつフラワーパーク	浜名湖花フェスタ実行委員会



家康楽市



はままつ庭めぐり



椿の挿し木と植え替え



浜名湖花フェスタ

サクラに関すること

“サクラ”は、イロイロと使われています。

- 桜海老** 成体の体長40mm前後で、透明の体に赤い色素を持ち、透き通ったピンク色に見える。桜海老の和名は、これに由来する。
- 桜貝** 幅10～20mmのピンク色の二枚貝の総称。
- サクラ肉** 馬肉のこと。赤み部分が空気に触れると桜色になることや、馬肉の切り身が桜の花びらを想像させることから、サクラ肉と呼ばれる。
- 桜鯛** スズキ目ハタ科に属する魚。体長約15cm。市場に桜鯛として流通しているのは、春先に漁獲されるマダイのこと。
- 桜田門** 江戸城の内堀に造られた門の一つ。国の重要文化財に指定されている。江戸城には内桜田門と外桜田門の2つが存在するが、単に桜田門という場合には、外桜田門を指すことが多い。
- さくら棒** 静岡県で売られている麩菓子。長い棒状で、表面には砂糖が塗ってある。長さは90cmほど。最近はイロイロな色や長さがある。
- 榿細工** 日本の伝統的な木工工芸品。山桜の樹皮を利用して作られる。茶筒や小箱、煙草入れなどに利用される。榿細工といわれているが実際にカバ類が利用されることはない。
- サクラ材** サクラ材は、木目が緻密で、光沢があるのが特徴で床など銘木内装材として用いられる。ヤマザクラは流通量が少なく、現在は、一般的にサクラ材というと、カバノキやミズメなどのカバノキ科の材をいう。



❖ 樹木医ってどんな人？

日本緑化センターが行なう資格認定制度で、全国共通試験及び厳しい研修を経て認定されるもので、現在全国で約2千名の樹木医がおります。静岡県では57名が認定され、各方面で活躍しています。

樹木医は各地の巨樹・名木等の樹勢診断や治療回復等の業務を行い、さらに樹木全般・緑地・森林・自然環境等の保全に広く寄与することを目的としています。



一般財団法人 浜松公園緑地協会

〒433-8122
静岡県浜松市中区上島三丁目27-12
TEL:053-411-6687 / FAX:053-464-7274
e-mail hamamatsu.p-g.asso@coral.ocn.ne.jp
URL <http://www.hama-park.or.jp/>

樹土愛楽 発行日:2015. 3. 27 年4回発行

編集後記: サクラといえばもうひとつ、「おさくらごはん」。給食の献立表にその言葉をみると、うきうきするくらい大好きだった。しかし、その大好きな「おさくらごはん」が遠州地方独自のものだったとは。とあるテレビ番組で知って、ものすごい衝撃を受けたことを覚えている。具なし炊き込みごはんと言われればそうかも。でも、おいしかったんだよ！確かにピンクじゃないけど。茶飯じゃなくて「おさくらごはん」のほうがやっぱりいいと思うけどなあ。(め)

